

Ⅳ. まちづくりの基本方針

まちづくりの基本方針は、「都市計画マスタープランの目標」「目標の実現に向けた4つの視点」「将来都市構造のあり方」に基づき、各種施策の実施に関する基本的な整備方針を整理したものです。具体的には、軸の形成、ゾーンの形成、拠点の形成の3つの都市構造により、それぞれのまちづくりの方針を定めます。

都市構造別の基本方針

軸の形成

広域幹線道路や鉄道などの整備効果を活かし、人と経済・文化の交流を促進させる

- ◆山陰近畿自動車道による広域道路ネットワークの強化
- ◆地域内道路ネットワークの強化
- ◆公共交通の利便性の向上

ゾーンの形成

職住近接の利便性の高い都市環境を築くとともに、人と水とみどりの共生する環境を実現させる

- ◆用途地域の指定などによる地域活性化
- ◆魅力的な都市景観の形成と自然環境の保全・共生
- ◆公園・緑地等の整備による生活環境の向上
- ◆うるおいのある住環境の整備
- ◆安全安心なまちに向けた防災基盤や都市施設の整備による都市機能の向上

拠点の形成

広域連携・交流の拠点を整備するとともに、市民生活を支える地域振興機能を充実させる

- ◆国道312号と国道482号沿いにおける商業・交流機能の向上
- ◆駅と市街地における観光・交流機能の向上

1. 広域幹線道路や鉄道などの整備効果を活かし、人と経済・文化の交流を促進させる（軸の形成）

（１）山陰近畿自動車道による広域道路ネットワークの強化

現状と課題

京都府の南北を結ぶ大動脈である京都縦貫自動車道が平成 27 年 7 月に全線開通し、その先線である山陰近畿自動車道・野田川大宮道路が平成 28 年度に開通予定にあります。こうした高速道路網の整備により、京阪神をはじめ、中京圏等との時間距離が飛躍的に短縮されることから、京丹後大宮 I C アクセス道路の完成による工業団地への流通機能の向上、各市街地での商業・交流機能の向上など、より一層地域の活性化が期待されています。しかし、日本海側国土軸である山陰近畿自動車道は、全線事業化の目途が立っておらず、高規格幹線道路網の空白地帯（ミッシングリンク）の解消が課題となっています。

整備方針

京都縦貫自動車道や舞鶴若狭自動車道につながる山陰近畿自動車道は、北近畿の活性化を図る地域高規格道路として早期整備を促進するほか、京阪神大都市圏や周辺地域との交流を促進するとともに、「命の道」として救急医療、災害時の支援、迂回路等の機能を確保します。また、都市拠点の将来像を見据えた新たな市の玄関口として、（仮称）大宮峰山 I C アクセス道路の整備を推進するほか、峰山町の地域拠点と丹後町方面への交通移動性を向上させる（仮称）峰山弥栄 I C アクセス道路の整備推進、網野町の地域拠点への交通移動性を向上させる網野インター線の整備を推進し、地域の商業・交流活動の活性化を図ります。

主な取り組み

●広域連携機能となる山陰近畿自動車道の早期整備

大宮峰山道路の早期完成及び（仮称）網野 I C までの区間について、早期に事業化されるよう関係機関と調整します。

●日本海国土軸となる山陰近畿自動車道の早期全線事業化

（仮称）網野 I C から豊岡市までの区間について、早期のルート決定を促進します。

●都市拠点構想に即した I C アクセス道路計画

本市の都市拠点エリアに設置される（仮称）大宮峰山 I C 周辺の土地利用計画等を考慮し、I C アクセス道路の都市計画決定を推進します。

(2) 地域内道路ネットワークの強化

現状と課題

本市を南北に連絡する広域幹線道路は、観光拠点等へのアクセスなど主要な道路交通機能を有するとともに、災害時の避難・緊急輸送道路の機能を担っています。しかし、日常的に朝夕の交通集中が起こり、観光シーズンには慢性的な渋滞が発生するほか、道路幅員が不十分であることなど、安全面、機能面で課題を有しています。また、生活道路である地域幹線道路（都市計画道路）は整備が遅れており、通学路等における安全確保が喫緊の課題となっています。

整備方針

地域資源を活かした個性ある都市、自然や歴史にふれられる都市を目指し、自然や文化、また、観光拠点へつながる道路の整備を推進するほか、幹線道路の渋滞緩和及び生活道路における良好な環境の保全を踏まえた都市計画道路の見直しを行います。

主な取り組み

●京丹後大宮 IC の供用を踏まえた国道 312 号の渋滞緩和対策

国道 312 号における右折レーンの設置並びに迂回道路となる府道間人大宮線の改良及び安全対策について、関係機関と調整します。

●主要地方道網野峰山線のリダンダンシー（代替性）確保

朝夕の渋滞や災害等による障害発生時に備え、迂回機能を持つ府道掛津峰山線・丹波バイパスの早期完成について関係機関と調整します。

●都市交通の発展と歩行者の安全確保などを踏まえた都市計画道路の整備

長期間未整備となっている都市計画道路は、道路需要の現状や未整備要因を踏まえて、早期に見直しを行い、必要な道路の早期整備を図ることで、通学等歩行者の安全確保を推進します。

関連する都市施設

■市街地内の都市計画道路の指定状況（平成 27 年 3 月末）

	路線名	起点	終点	計画 幅員	計画 延長	改良済 延長
1	鳥取豊岡宮津自動車道宮津網野線	大宮町三重	網野町公庄	15m	15,090m	0m
2	小浜網野駅線	網野町小浜	網野町下岡	12m	2,910m	0m
3	御陵線	網野町網野	網野町網野	8m	670m	670m
4	浅茂川小浜線	網野町浅茂川	網野町小浜	16m	2,000m	1,370m
5	安丹波線	峰山町安	峰山町丹波	12m	2,280m	130m
6	峰山本町通線	峰山町吉原	峰山町菅	12m	1,980m	0m
7	桜内荒山線	峰山町丹波	峰山町荒山	11m	1,010m	1,010m
8	浅茂川網野駅線	網野町浅茂川	網野町下岡	16m	3,200m	3,200m
9	港福田線	網野町浅茂川	網野町網野	12m	1,000m	0m
10	下岡本町線	網野町下岡	網野町網野	12m	2,240m	460m
11	朝日桃山線	網野町浅茂川	網野町網野	12m	1,180m	330m
12	新田朝日線	網野町浅茂川	網野町浅茂川	12m	680m	0m
13	大昭北大路線	網野町網野	網野町網野	12m	900m	0m
14	漁港線	網野町浅茂川	網野町浅茂川	16m	700m	0m
15	十王堂線	網野町下岡	網野町網野	12m	610m	0m
16	峰山駅前通線	峰山町杉谷	峰山町荒山	12m	820m	290m
17	杉谷荒山線	峰山町杉谷	峰山町荒山	12m	1,150m	980m
18	安峰山停車場線	峰山町安	峰山町杉谷	8m	1,670m	910m
19	吉原杉谷線	峰山町吉原	峰山町杉谷	8m	900m	0m
20	井柵尻樋田線	峰山町杉谷	峰山町杉谷	8m	250m	250m
21	網野インター線	網野町小浜	網野町公庄	8m	2,250m	0m

《都市計画道路の整備状況》

《網野地域 拡大図》



《峰山地域 拡大図》



(3) 公共交通の利便性の向上

現状と課題

本市の公共交通の基幹軸である京都丹後鉄道は、平成 27 年度から上下分離方式を導入した新会社による経営がスタートし、観光誘客につながる魅力的な移動手段の実現や利便性の向上に取り組んでいます。また、路線バスについては、本市の強みである「上限 200 円バス」をはじめ、運行路線の拡充や停留所の増設などにより利便性が向上し、利用人員が 2 倍を超えています。更に、鉄道や路線バスの取り組みの上に E V 乗合タクシーの導入を加え、公共交通による外出支援を推進するなど、新公共交通体系の実現に向けた取り組みを展開しています。

そういった公共交通の利便性向上につながる取り組みを進める中で、歩いて暮らせるまちづくりの推進や、居住地を問わず都市機能の集積効果の恩恵が受けられる交通体系の構築、また、駅の機能の充実といったことが求められています。

整備方針

京都丹後鉄道や路線バスなどの公共交通は、本市の活性化に向けた大動脈として利便性の向上に努め、市民の利用はもとより観光客の利用増を図ります。また、便利な公共交通により、さまざまな日常生活における移動支援を行い、スムーズな通院、通学、買い物、観光等の目的が達成できるよう推進するほか、駅舎を活かし、人が集まる多機能施設への転換を図るなど、駅の機能強化を進めます。

主な取り組み

●鉄道を基軸とした地域の活性化に結びつく公共交通ネットワークの構築

駅の都市機能や交通結節機能を高め、移動の利便性などを向上させるとともに、鉄道及びバスとの連携により魅力を発信し、集客拡大を図ります。

●交通弱者である高齢者等への買物・通院難民対策としての取り組み

「上限 200 円バス」「高齢者上限 200 円レール」の取り組みなど、低額で使いやすい公共交通モデルを推進します。

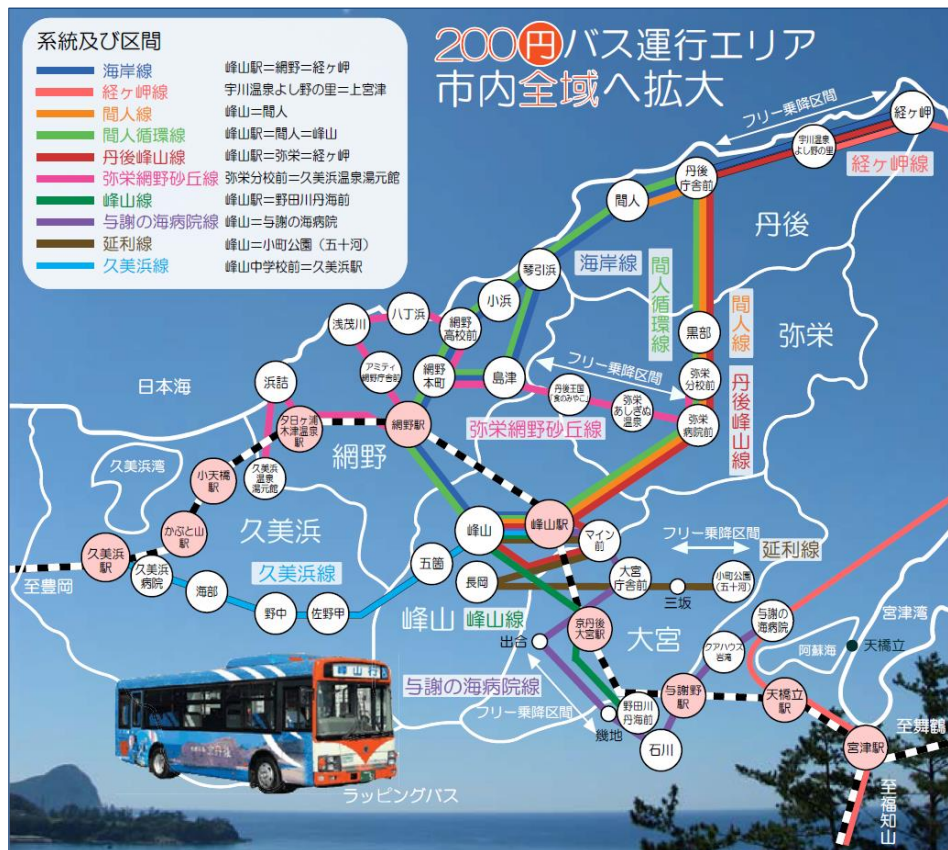
●都市機能の集積効果を高める駅やバスターミナルの整備

買物や食事、娯楽など都市サービスの利便性を高めるため、都市拠点エリアへの新駅設置の可能性も含め、バスターミナルの設置など、交通結節点のあり方について検討を行います。

《鉄道路線図》



《バス路線図》



2. 職住近接の利便性の高い都市環境を築くとともに、人と水とみどりの共生する環境を実現させる（ゾーンの形成）

（１）用途地域の指定などによる地域活性化

現状と課題

都市計画区域は、本市の中央部に位置し、区域の中央及び沿岸の市街地と、その周辺に広がる田園や山林などの自然地域により形成されています。市街地においては、本市の基幹産業であるちりめん工場や機械金属系の工場が多く点在し、古くから丹後地域の業務・商業・地域産業の拠点として、諸機能の集積による都市サービス機能が図られているほか、近年、国道３１２号沿道には広域商業機能の集積が進んでいます。更に峰山の既存市街地には、市役所などの行政サービスのほか、事業所や商店街などの商業店舗が立地しており、これまでから中心市街地としての役割を果たしています。

赤坂工業団地については、付近の自然環境を保全しつつ、活力のある生産活動の拠点として発展を図っています。また、森本工業団地においては、都市の玄関口となる山陰近畿自動車道のインターチェンジ周辺に位置することから、その優位性を活かした企業誘致を進めています。

これらの現状を踏まえて、商業地や居住地の拡散の抑制、また、基幹産業の振興と工業機能の強化を目指し、それぞれの用途に応じた適切な土地利用計画を定める必要があります。

整備方針

商業施設の立地が進み、新たな商業集積地域が形成されつつある国道３１２号と国道４８２号が交わる市街地付近においては、山陰近畿自動車道のＩＣアクセス道路が整備される予定であることから、計画的な商業施設の誘導を推進するため、商業系用途地域の指定を行います。

旧町単位で形成されている市街地での地域振興機能の充実や、峰山市街地における行政サービスの効率化と利便性の向上を推進するため、商業系用途地域の指定を行います。

既存の工業団地においては、産業機能の維持強化と企業誘致の推進に向け、工業系用途地域の指定を行います。

住宅地としての市街化が進む地域については、住宅や工場などの混在による住環境の悪化を未然に防ぐため、住居系用途地域の指定の適否についての検討、また、既存市街地においては、基幹産業の工場と住宅が混在している現状を踏まえ、特別用途制限地域などについて検討します。

主な取り組み

●駅周辺の活性化と、国道沿道での商業集積の誘導

【商業系用途地域の指定】

用途地域の指定により商業機能の集積を促し、地域活力の向上を促進します。

●産業振興を通じた地域雇用の維持と拡大の推進

【工業系用途地域の指定】

用途地域の指定により産業機能の向上を促し、新規企業の立地を推進します。

●住宅や工場などの混在による居住環境の悪化を未然に防ぐ

【住居系用途地域の指定の検討】

良好な住環境の形成を図るため、用途地域の指定の適否について検討を行います。

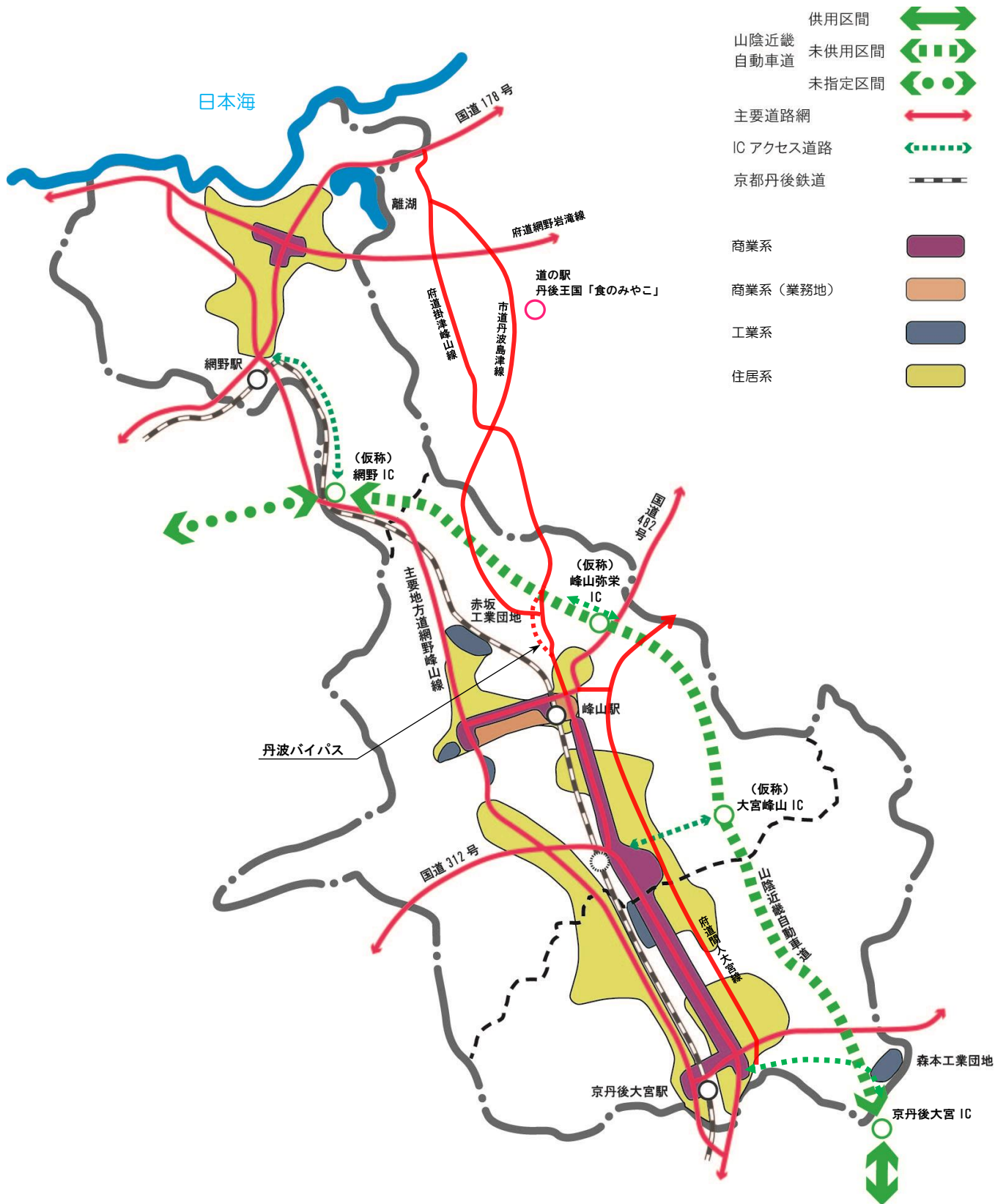
●行政サービスの効率化、利便性の向上

市役所本庁機能の集約化を進め、業務地としての機能を高めます。

●既存市街地における工業機能と居住地の共生

基幹産業の工場と住宅が混在している現状を踏まえ、特別用途制限地域などについて検討します。

《土地利用構想図》



(2) 魅力的な都市景観の形成と自然環境の保全・共生

現状と課題

市内には歴史資源や史跡が多く見られるほか、丹後ちりめん発祥の地として独自の歴史と伝統を受け継いでおり、狛猫などで縁の深い金刀比羅神社周辺では、門前町としてのまちなみが残されるなど、各地域で豊富な観光資源を有していますが、その資源の有効活用ができていない状況にあります。また、海岸線にある国立公園や国定公園、山陰海岸ジオパークなどの自然資源や、市街地周辺の里地里山・水辺や農地といった豊かな環境を継承するため、景観保全・災害防止の観点からの開発制限や自然保護への取り組みを推進する必要があります。

整備方針

景観法などを活用した景観誘導の取り組みを促進するとともに、京丹後らしい特色を活かした良好な景観の形成を推進します。また、各地の旧市街地には、歴史を感じられる古いまちなみが残っているため、こうした特徴あるデザインや様式を保全・活用した景観形成を図ります。更に、過去より受け継がれてきた美しい自然環境及び公益機能をもつ農山村環境の未来への継承、美しい海岸の保持と良好な景観の維持のため、環境保全の多様な取り組みを推進するとともに、水辺やみどりの空間とふれあえる環境づくりを進めます。

主な取り組み

●古代丹後の輝かしい歴史・文化資産の保全と活用

歴史遺産や伝統文化等の保存・継承を図るとともに、市民の誰もが身近に文化・芸術に親しみ、質の高い文化を創造できる環境づくりを進めます。

●旧来のまちなみを活用した新たな観光の拠点づくり

金刀比羅神社や京丹後大宮駅周辺、網野市街地での歴史あるまちなみを活用し、魅力的な観光地を周遊できる環境整備を行います。

●都市景観の形成によるまちの魅力の創出

京丹後らしい都市形成の観点から、建築物や工作物などの景観規制や誘導を図り、来訪者にとって魅力的と感じられる都市景観の形成を図ります。

●優れた自然環境の保全と共生

美しい海岸線や身近な水辺空間、里地里山などの自然環境の保全を図るとともに、人と水とみどりの共生する環境づくりを推進します。

(3) 公園・緑地等の整備による生活環境の向上

現状と課題

市内には競技スポーツ施設を有する都市公園を3箇所整備しているほか、野球・ソフト・サッカーなど多目的に利用できる大宮自然運動公園があり、スポーツ施設として活発に利用されています。更に、街区公園として整備している小規模公園においては、住民の憩い・レクリエーションの場として利用されています。また、網野銚子山古墳については、歴史や史跡を活用するための環境整備に取り組んでいます。

都市公園においては、スポーツ観光施策の展開により交流基盤を整え、市民のニーズに合わせた施設整備を推進する必要があります。

整備方針

市民の憩いやスポーツ活動など日常的な利用に対応した、ゆとりある都市公園の充実を図るとともに、海岸や森林など本市ならではの豊かな自然環境や歴史資源などにふれることのできる個性ある公園の整備を図ります。また、スポーツイベントを通じた市内経済の好循環を第一に、地域内、他地域の人々との交流が活発化し、年間を通じて地域のにぎわいや活性化が図られるまちづくりを目指し、地域総ぐるみによる多様な企画の実施や、その展開に向けた環境整備、体制整備に取り組めます。

主な取り組み

●都市公園の利便性を高める新たな機能整備

市民の憩いやスポーツ活動、また、自然環境や歴史資源などを活かした個性ある都市公園の整備を図ります。

●快適で憩いのある生活空間の形成

身近な、歩いていける範囲に、誰もが気軽に利用できる公園や遊歩道、水辺空間等の水とみどりの拠点をつくります。

●網野銚子山古墳の史跡を活かした取り組み

文化財としての保存を前提として、市民や観光客が気軽に訪れることができるよう、歴史公園への整備を推進します。

関連する都市施設

■都市計画公園

名称	計画面積	主要施設
5・5・1 峰山総合公園（総合公園）	21.3ha	野球場、サブグラウンド、テニスコート、遊歩道、展望台
4・4・1 峰山途中ヶ丘公園（地区公園）	7.6ha	グラウンド（陸上、サッカー兼用）、ジョギングロード、大型複合遊具
5・4・2 八丁浜シーサイドパーク（総合公園）	9.8ha	多目的芝生広場（サッカー、グラウンドゴルフ）、多目的広場、大型複合遊具

《公園施設の整備状況》



(4) うるおいのある住環境の整備

現状と課題

住民の生活を取り巻く環境は、道路や下水道などの社会インフラの整備により、ライフスタイル、居住ニーズの多様化など大きく変化しており、住環境に対する関心が高まっています。こうした中で、老朽化による公営住宅の建替えや集約化の推進、また、歩道や公共施設の整備などについては、段差解消やスロープなどユニバーサルデザインに配慮した取り組みが求められています。

また、循環型社会の構築に向け、峰山クリーンセンターを中核施設とした、ごみの減量化や再資源化を推進するほか、市内に複数あり老朽化していた火葬場については、市民の利便性を考慮して新たな施設への建替えを行い、現在稼働させています。

整備方針

多様な住宅ニーズに対応した良好な住環境を確保します。また、住宅の安全性や耐震性を向上させるとともに、道路、下水道等の整備を推進し、更に、公共施設におけるユニバーサルデザインの採用など、快適に暮らせる生活空間の形成を図ります。

主な取り組み

●下水道事業等の推進による河川や水路の水質保全及び住環境の改善

水環境の保全及び快適な市民生活を確保する観点から、下水道及び浄化槽整備を推進し、水洗化の向上を目指します。

●公営住宅の老朽化による集約や計画的な建替

「京丹後市公営住宅ストック総合活用計画」に基づき、計画的な建替えや集約化を図り、安心して快適に生活できる公営住宅の整備を行います。

●ユニバーサルデザインに配慮した歩行者ネットワークの構築

公共施設のバリアフリー化など、快適な歩行空間を創出し、歩いて暮らせるまちづくりを推進します。

関連する都市施設

■公共下水道（污水）

下水道の名称		京丹後市公共下水道	
排水区域	都市計画決定	汚水（分流式） 峰山・大宮処理区 約 717ha （うち処理区域約 717ha）	汚水（分流式） 網野処理区 約 259ha （うち処理区域約 259ha）
	全体計画区域	約 756ha	約 300ha
下水管渠		吐口 1 箇所	吐口 1 箇所
その他施設	処理施設 名称 敷地面積 処理方式	峰山・大宮浄化センター 約 3.24ha オキシデーション・ディッチ法	網野浄化センター 約 2.04ha オキシデーション・ディッチ法
	ポンプ施設 名称 敷地面積	峰山・大宮第 1 汚水中継ポンプ場 約 0.03ha	
		峰山・大宮第 2 汚水中継ポンプ場 約 0.054ha	
		峰山・大宮第 3 汚水中継ポンプ場 約 0.057ha	

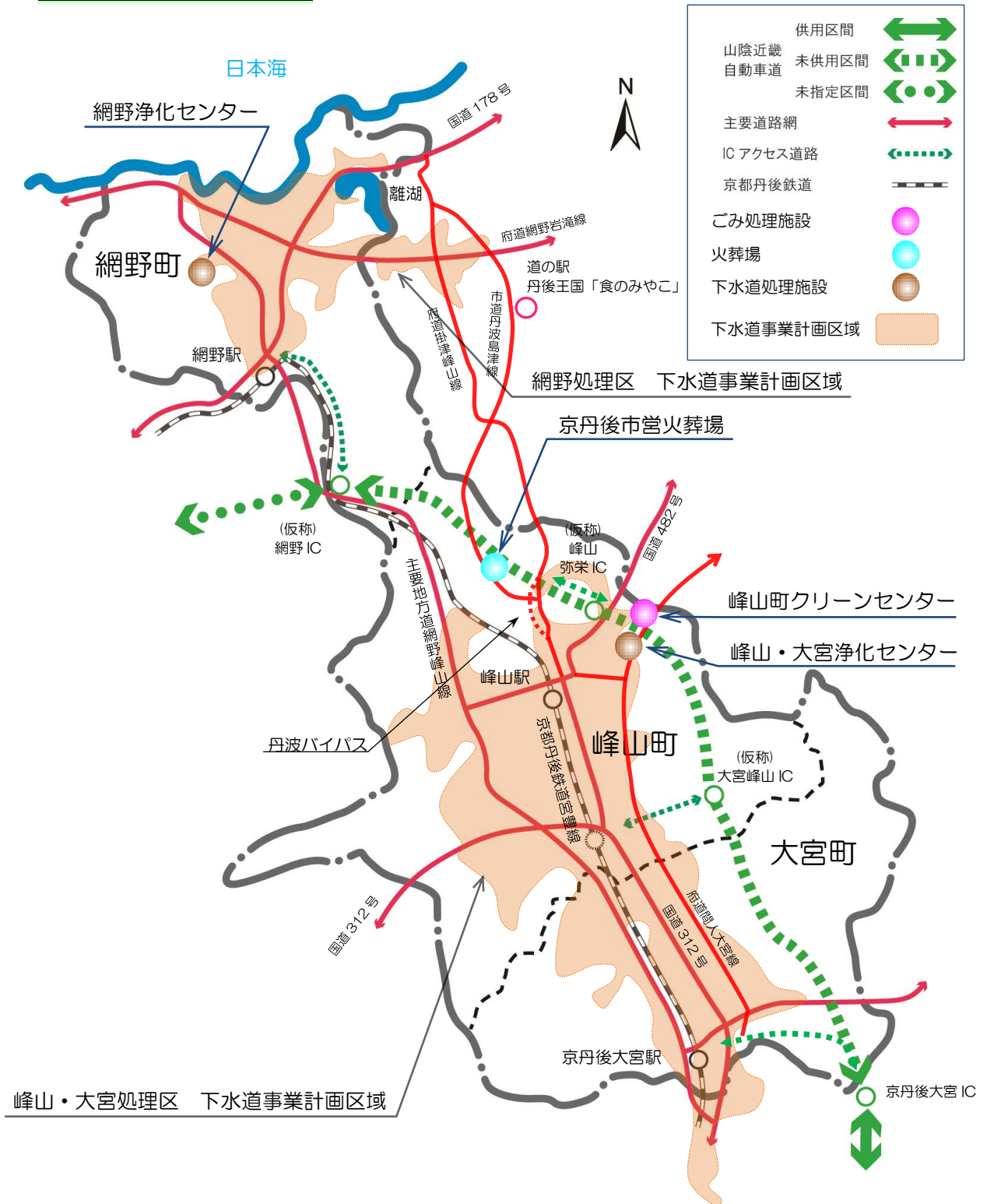
■都市施設（ごみ処理施設）

種類	名称	位置
廃棄物（可燃）	峰山町クリーンセンター	京丹後市峰山町内記 908 番地

■都市施設（火葬場）

種類	名称	位置
火葬場	京丹後市営火葬場	京丹後市峰山町赤坂 2 番地の 1

《都市施設の整備状況》



(5) 安全安心なまちに向けた防災基盤や都市施設の整備による都市機能の向上

現状と課題

これまでの想定をはるかに超えた巨大な地震や津波が発生したことを受け、京都府においては、「最大クラスの津波」に対して、総合的防災対策を構築する際の基礎となる津波浸水想定を作成しており、本市においても、災害発生時の避難体制の見直しなど、地域の実情に応じた減災対策の推進が必要となっています。更に、近年では台風などによる集中豪雨がたびたび発生し、河川や水路の溢水による家屋の浸水被害などが多発しているため、住民の安全性確保に向けた内水対策事業を実施しており、今後も内水排除への取り組みを推進する必要があります。また、災害時や救急時にはヘリコプターが活用されていますが、常時運用が可能な場外離着陸場所がないため、その確保が求められています。

整備方針

市民が地域のなかで安心して暮らすことができるよう、災害に強いまちを目指すとともに、地域防災計画に基づき、地域における消防・防災体制・救急体制の充実及び施設整備を推進します。また、土地利用を踏まえた土砂災害や浸水被害対策の検討を行います。

主な取り組み

●防災基盤の整備による災害に強いまちの構築

竹野川や福田川などの河川改修を促進するとともに、中小河川についても、治水・利水機能等との調整を図りつつ、計画的な河川改修を推進します。

●内水対策事業の早期完了と事業者や住民による自助の取り組み

市街地内の浸水防除の観点から、水路の改修やポンプ場、雨水貯留施設の整備を推進します。また、住民などによる雨水貯留施設の設置を促進します。

●災害時や緊急時における、ヘリコプターの場外離着陸場の確保

災害時や緊急時における救援物資の輸送、救急患者の搬送搜索など、より迅速な対応を可能とするため、新たな場外離着陸場の整備を推進します。

関連する都市施設

■公共下水道（雨水）

下水道の名称		京丹後市公共下水道
排水区域	都市計画決定	雨水（分流式） 網野処理区 約 99ha
	全体計画区域	約 99ha
その他施設	ポンプ施設 名称 敷地面積	小栓川雨水ポンプ場 約 0.08ha
		内ヶ森第 1 雨水ポンプ場 約 0.02ha
		内ヶ森第 2 雨水ポンプ場 約 0.14ha
	貯留施設 敷地面積 調整池容量	約 0.8ha 約 3,000m ³

■都市下水路

下水道の名称	延長
風呂川都市下水路	2,460m
風呂川水系カイセ川都市下水路	2,544m
北大路都市下水路	693m
浜河口都市下水路	600m
勝山都市下水路	590m

《排水施設の整備状況》

《網野地域拡大図》



《峰山地域拡大図》



3. 広域連携・交流の拠点を整備するとともに、市民生活を支える地域振興機能を充実させる（拠点の形成）

（１）国道 312 号と国道 482 号沿いにおける商業・交流機能の向上【都市拠点】

現状と課題

本市の主要な幹線道路である国道 312 号と国道 482 号沿いには、商業施設の立地による新たな商業集積が進んでいるところであり、市民の生活の一端を担う重要な役割を果たしています。一方で、都市拠点としての交通結節機能が不十分であるほか、都市機能整備が進んでいないなどの課題を有しています。また、（仮称）大宮峰山 IC アクセス道路を整備予定であるため、商業・交流機能の発展につながる交通体系の構築が必要となっています。

整備方針

国道 312 号と国道 482 号沿いにおいては、商業系用途地域等の活用による適正な土地利用の転換を図り、商業系用途地域外への無秩序な機能の拡散やそれに伴う地域環境の悪化などの防止に努めます。また、駅を起点とした都市基盤整備を推進し、車社会から公共交通を中心とした環境社会への転換を目指した良好な都市環境の整備を図るほか、広域交通網の玄関口機能を有する（仮称）大宮峰山 IC アクセス道路の整備を推進し、商業・交流機能の発展を図りながら、新都市拠点としてふさわしい都市機能の誘導を図ります。

主な取り組み

●だれでも立ち寄れ、市内情報が得られる拠点づくり

本市の南の玄関口として観光・休憩所を整備し、市内観光情報などを効果的に発信できるよう推進します。

●文化、芸術活動による交流を促す拠点づくり

現在商業機能が集積しつつある国道 312 号と国道 482 号の交点付近において、教育・文化や芸術活動が行える拠点の整備を行います。

●都市のにぎわいとゆとりを創出する拠点づくり

誰でも気軽に集まり、趣味や娯楽など多目的に利用できる、にぎやか広場の整備を行います。

(2) 駅と市街地における観光・交流機能の向上【地域拠点】

現状と課題

峰山町、網野町、大宮町は、それぞれの町ごとに住民生活を支える機能を持つ市街地を核としたまちづくりを展開していました。近年は、その地域拠点の中心となる駅や市街地周辺地域での各種サービス機能が低下しており、地元商店街の活性化、地域振興機能の充実や地域コミュニティの場としてのあり方などが課題となっています。また、海岸線、史跡・遺跡、文化などのさまざまな資源に恵まれている本市においては、観光基盤の整備・誘致方策の実施など総合的な対応が大変重要となっています。

整備方針

各町の市街地を形成する地区は、その周辺の発展を先導し、地域に適したサービスを提供する地域拠点として位置付け、地域振興機能を充実させるとともに、空き店舗等の利活用による特徴的な商店街づくりなどを推進し、高齢者・買い物弱者への対策、また、コミュニティ拠点としての活性化を図ります。また、駅と観光資源とを連携させ、京丹後らしい観光地としての魅力を磨くことで、年間を通じた観光誘客を促進し、交流人口の増加による地域の持続的な発展を目指すとともに、山陰近畿自動車道からのアクセス道路を活かした、商業・交流基盤の向上による地域活性化を図ります。

主な取り組み

●駅の機能向上と合わせた周辺整備と施設の段差解消

現在の駅の機能を高めるため、段差解消や駅前整備などを行います。駅前整備においては、路線バスとの連携を考慮しながら進めます。

●駅周辺から観光資源への周遊を促す取り組み

鉄道利用者と観光地を結ぶ手段として、自転車などの貸し出しサービスを行い、観光周遊への利便性の向上を図ります。